



よわらっこ



日南市立榎原中学校だより 令和3年度 7月号 TEL:0987-68-1004 FAX:0987-68-1592

E-mail: 4225ja@miyazaki-c.ed.jp 文責:教頭 R3.7.16(金)

家庭教育学級 6月24日に第1回小中合同の家庭教育学級を実施しました。今年度は中学校が当番校であるため、本校の石原校長が講話を行いました。テーマは“それぞれの人生における選択とこれからの教育”でした。特に、これからのICT教育に関しては、実際にタブレットを使った授業の一端を披露されました。また、これからの社会で必要とされる資質・能力に関する話題では、今後AIが取って代わる仕事とそうならない仕事について実例を挙げて説明され、コミュニケーション能力の大切さを力説されました。実際、榎原小・中学校でも、その能力が身に付くように、多様な人々と連携・協働して、課題解決を図る学習活動が多く取り入れられています。今年度はコロナ禍以前と同じように行事等も実施したいと考えていますが、新型コロナウイルスの感染がまだ収まらない状況では、新たな方策を模索していくことも必要となっています。



学校運営協議会 7月1日に小中合同の学校運営協議会を開催しました。この会議は、昨年度まで実施していた学校評議会及び学校関係者評価委員会が発展したものであり、学校と保護者、地域が連携・協働することによって、これからの地域の担い手となってくれる児童や生徒の育成を支援することを目的としています。これまでの会議では、学校長が学校の教育ビジョンや評価をもとに、委員に対して学校運営の説明をしたり、協力をお願いしたりする意見交換の場で



した。一方、運営協議会では、委員が学校運営に対して承認を行い、学校長や教育委員会にも意見を述べるができるなど、学校運営に積極的に関わっていくことが認められています。このことによって、特色ある学校の教育活動がさらに充実し、地域とともにある開かれた学校（コミュニティースクール）へと変わっていくことが期待されます。今年度の協議会の委員は下記の方々です。

- ・学校支援コーディネーター 鶴元 寛 様
- ・下講地区民生児童相談員 長友 昭 様
- ・元榎原中PTA会長 山田照子 様
- ・榎原小PTA会長 河野春彦 様
- ・榎原中PTA会長 河野利和 様

今回の意見交換では、まず通学路の安全が話題となりました。その中で、国道220号線は歩道が狭い箇所やガードレールが整備されていない区間もあり、朝夕は交通量も多く大変危険であるとの指摘がありました。次に、コロナ禍での教育活動の話題では、外部からの人材活用が難しかったり、部活動への影響が大きかったりしているが、できるだけ通常の教育活動が実施できるように工夫しているなどの報告がありました。また、学校の教員と保護者や地域の住民の方々との交流の場も全くなくなってしまっているため、前向きに検討して欲しいとの要望がありました。

ものづくり体験学習



7月8日に、ものづくり体験学習を実施しました。今回は、宮崎県技能士連合会（事務局長の山口さんは榎原出身で、当日も来ていただきました）の協力をいただき、板金加工の技能士の方々の指導を受けながら、銅板を使った表札づくりに挑戦しました。作業では、自分の名字を銅板に転写することから



始まり、筋彫り、ヘア出し等の行程を行った後、浮き出た名字をマジックで塗りました。それを特殊な液体につけた後、マジックの色を落として磨きをかけ、仕上げました。全部で10近くの行程がありましたが、生徒は黙々と作業に取り組んで立派な作品を完成させることができました。

ダニエル先生ありがとうございました

日南市教育委員会でALT講師をされていたダニエル先生の最後の授業が16日（金）にありました。3年生は、中学校に入学してからずっとダニエル先生の指導を受けてきており、一緒に英語の学習ができる時間を毎回楽しみにしていました。最後の授業では、どの学年もお別れ会を企画して楽しい時間を過ごし、名残を惜しみました。



8月の行事予定表

1	日		16	月	学校閉庁日
2	月	小中合同研修会	17	火	登校日 小中合同研修会
3	火	三者面談（3年）	18	水	研修日
4	水	三者面談（3年）	19	木	
5	木	小中合同家庭学級視察研修	20	金	教育講演会
6	金		21	土	
7	土		22	日	
8	日	山の日	23	月	
9	月	振替休日	24	火	
10	火	学校閉庁日	25	水	2学期始業式
11	水	//	26	木	身体計測（1・2年）
12	木	//	27	金	
13	金	//	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	
			31	火	身体計測（3年）

榎原歳時記

職員室前の花壇は、ベジタブルガーデンと呼ばれています。昨年度は、理科の教員が、夏にはオクラを、冬には大根を育てて収穫しました。今年度も、春先は春野菜の種をまいて育てていましたが、葉っぱが大きくなり始めた途端に青虫のえさとなり、まるで魚の骨のように軸だけが残り、哀れな状態となってしまいました。その後、学校長が夏野菜のオクラや枝豆の種をまいて育て始めました。ただ、発芽して双葉が広がり始めた頃からやはり虫や鳥の被害を受けるようになりました。収穫を心待ちにしている職員のため、なんとか生き延びた苗を毎日大事に世話しています。

